

不陸調整マット

- 敷設する地盤と受圧板の不陸は現場によって異なるが、最大200mmに対応
- 再生ポリエステル長繊維不織布を使用することにより、凹凸面への耐久性を向上
- 再生ポリエステル長繊維不織布の透水性により脱水

不陸調整マット本体



表面（穴あきベルト縫い付け面）

裏面

各タイプ別 不陸調整マット標準サイズ(例)

受圧板	外寸 (mm)	センター抜き穴 (mm)
スクエアタイプ 2900×2900	3,000×3,000×200t	φ200
セミスクエアタイプ 2850×2850	2,900×2,900×200t	φ200
クロスタイプ 2,400×2,400	2,450×2,450×200t	φ200
円形タイプ φ2,250	φ2,300×200t	φ300

*適用受圧板に応じて個別に寸法を検討します

*クロスタイプを除き、2室型の製作も可能です

不陸調整マットの物性値

品名		上下部布	立上部布
重量 (g/m ²)		550	320
厚さ (mm)		4.2	0.5
引張強さ	タテ	1,765 (N/5cm)	3,130 (N/3cm)
	ヨコ	1,175 (N/5cm)	3,130 (N/3cm)
伸び率 (%)	タテ	60.0	16.0
	ヨコ	60.0	15.0
透水係数(cm/sec)		1.5×10^{-1}	1.35×10^{-3}

* 上記の数値は標準値であり、保証値ではありません。

* 上下部布 再生ポリエステル長繊維不織布（色調：グレー）

* 立上部布 ポリエステル不織布（色調：白）

不陸調整工の標準歩掛り

①編成人員

世話役	普通作業員	計
1.0	2.0	3.0

②設置枚数

～1,500	1,500～2,000	2,000～
20.0	18.0	16.0

・不陸マットの大きさは、セミスクエア、クロスタイプは幅とし、円形は直径とする。

③セメントミルクの注入（10m³ 当たり）

名 称	規 格	単 位	数 量
世話役	土木一般	人	3.3
特殊作業員		人	3.3
普通作業員		人	3.3
諸雑費		%	20

・諸雑費は、グラウトミキサ、グラウトポンプ、水中ポンプ、サンドポンプ、水槽発動発電機の費用であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額である。

セメントミルクの注入量(V)は、次式により算出する。

$$V = A \times t \times (1+K)$$

A : 受圧板の面積 (m²)

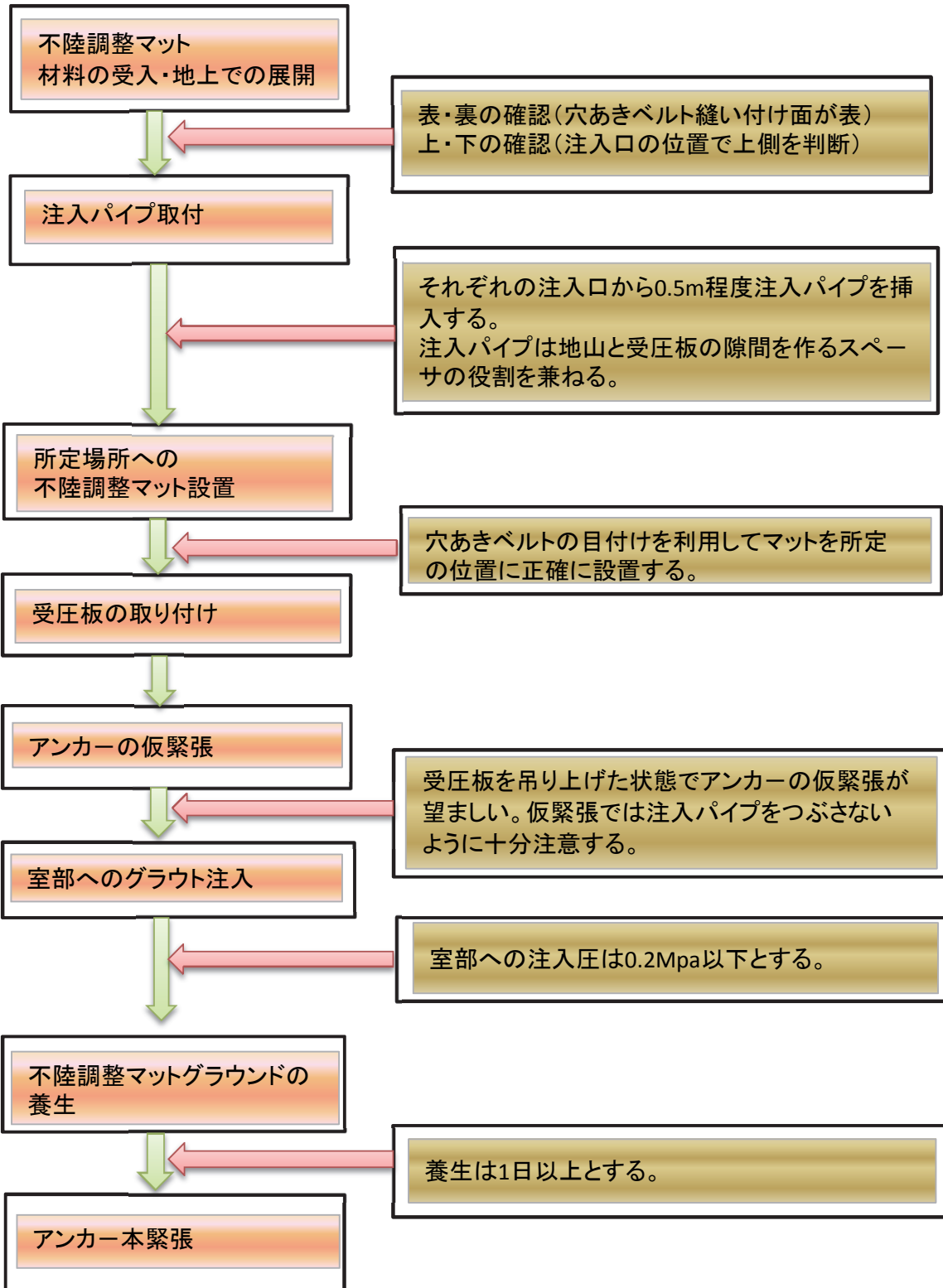
t : 不陸の平均厚さ (m)

K : 注入量のロス率(0.05)

④セメントミルクの配合例（1m³当たり）

	ポルトランドセメント(C)	水	混和剤
重量配合比	1.0	0.5～0.55	C × (0.2～2.0%)
1m ³ 当り配合	1,230 kg	615～677L	

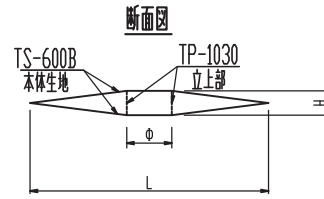
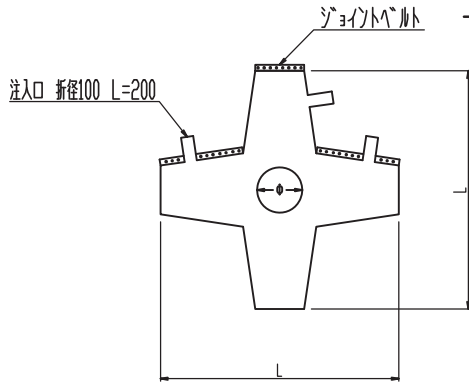
不陸調整マットの敷設



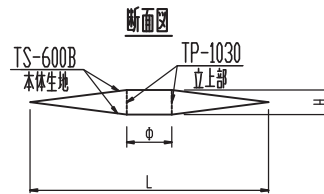
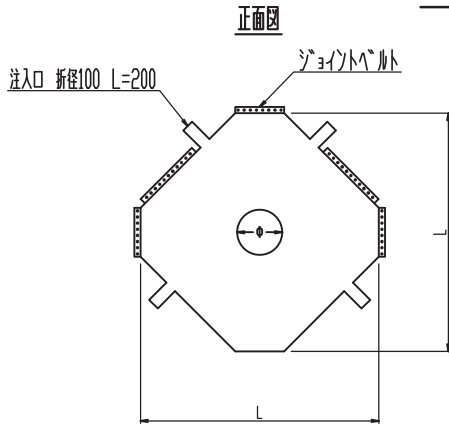
注) 上記は、1室型ですが別途2室型も可能です

不陸調整マット 参考標準正面図・断面図

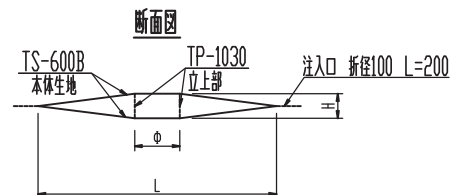
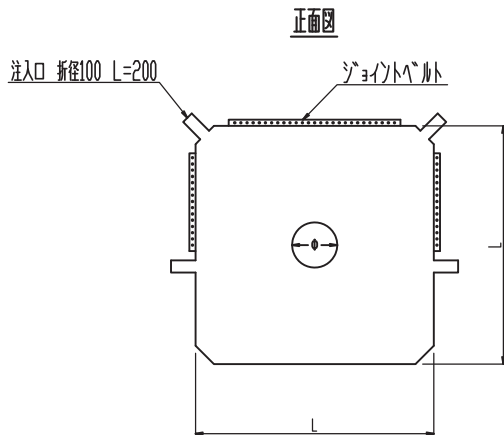
クロスタイプ



セミスクエアタイプ



スクエアタイプ



- 注入口の位置変更可能です。
- 注入口の追加加工可能です。

MIP 守谷鋼機株式会社

本 社 〒101-0026
 東京都千代田区神田佐久間河岸67 MBR99 4階
 ☎03-6240-9111 ☎03-6240-9160
 第1工場 〒300-2661
 (つくば) 茨城県つくば市上河原崎 7 番地
 ☎029-847-5488 ☎029-847-5489
 第2工場 〒709-0805
 (岡山) 岡山県赤磐市二井 87 番地
 ☎086-955-2840 ☎086-955-2841
 ホームページ <http://www.moritani-kouki.co.jp/>